



# 災害による逃げ遅れゼロへ向けて



鳥取県米子市 上後藤二区防災会 女性防災クラブ  
リーダー 永嶋 育子

## 1 上後藤二区の紹介

上後藤二区のある米子市は人口約15万人で、鳥取県の西部に位置し北は境港市、西は島根県安来市に隣接しています。地域の概要は、班数3万400世帯、人口1,100人で、75歳以上の高齢化率は20.4%です。

## 2 女性防災クラブの結成

平成21年～22年にかけて、当地域内での全焼1件、隣の地区との境界でのボヤ1件、隣の地区での全焼1件と立て続けに火災が発生しました。このことから、火災からの逃げ遅れゼロ、および安全で安心して暮らせる地域作りを目指して、平成22年女性防災クラブを6名で結成しました。平成23年5月の住宅用火災警報器設置義務化にむけて、会員宅100%設置を目標に取り組むことにしました。時間もあまりないので商品説明、共同購入、取り付け等についての説明会を急ぎ実施しました。その後申し込み状況、設置状況を回覧し、未設置宅の情報収集も併行して行い、最終的には総

数490個を3回に分けて共同購入しました。高齢者宅へ取り付けサービスも行った結果、93%の設置率を達成しました。女性中心の良かった点は、横の連絡が早く、平日の集まりもスムーズで、家庭の主婦、高齢者の方にも受け入れやすかったようです。

## 3 東日本大震災以降の活動

東日本大震災以降各地で防災についての取組がいろいろ行われていますが、私たちの地域でも毎年災害図上訓練、緊急避難訓練を実施しています。災害図上訓練では30人の班長が自分の班廻りや指定の一時避難場所を見て廻り、空き家、狭い道、危険な箇所等の自分の班の強み弱みを把握し地図に記入し各グループが発表し情報交換を行っています。

そして各班長は、災害による逃げ遅れゼロに向けて75歳以上の高齢者一人暮らし世帯、昼間のみ高齢者一人暮らしの災害時要援護者も把握し、前任班長から引き継いだ地図に最新データを記入し、ふれあいマップとして管理し、日常及び有事の際の共助



災害図上訓練・地域内の視察



災害図上訓練・地図への記入



災害図上訓練・発表、討議



緊急避難訓練

に活用していきます。

緊急避難訓練では図上訓練を基に災害時の避難場所の確認をもらい、要援護者の搬送や非常食の炊き出し、水消火器による消火訓練、担架の作り方、煙体験等を行い自治会の半数近くの世帯が参加しています。

#### 4 災害時要援護者ふれあい活動

市の長寿社会課より提供のあった情報と手元の情報をカード化して整理し、一人暮らし41世帯、高齢者世帯28世帯の方を女性防災クラブ3チーム6人と民生委員とが協力しながらふれあい訪問しています。訪問頻度は要援護者の状況で異なりますが、基本は年4回の目安としています。ふれあい訪問も女性ならではの視点から身近なお話や困っていることなど気軽に相談相手になっています。

そんな中、高齢者宅に訪問中、奥さんと世間話をしていたら、ご主人が急に具合が悪くなられ一緒に病院に付き添い、幸い大事には至りませんでした。突然のことで89歳の奥さん一人ではたいへんだったと思います。女性防災クラブ員も初めての出来事に遭遇し普段の関わり合いがいかにか大切であるか実感しました。こんな出来事を含め訪問した折の様子、感じたことなどはカー



女性防災クラブ員

ドに記入し、次回の確認事項としています。

また、一人暮らしのお年寄り宅を何回訪問しても会えなく、近所の方と声かけをしてやっと病気で寝ておられることがわかり、緊急時の連絡先の家族に電話したり、近くの医師に往診に来てもらったこともありました。結局入院されましたがもう少し対応が遅れていたらどうなっていたでしょう。本当にこれからの高齢化社会に考えていかなければならない問題だと痛感しました。

今後もこれまで以上に地域一体となり、ふれあいの輪を広げ、逃げ遅れ、対応遅れをなくし、防災会が継続して行っている災害図上訓練・避難訓練等と合わせて要援護者へのふれあい活動を行い、安全で安心して暮らしていける地域づくりを目指して取り組んでいきたいと思っています。